

畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 K K東北プリント



第6回ミルクレディーコンテスト (フォーラス: '93.3.21)

もくじ

- 平成5年度当初予算の概要…… 2
- 牛も人も生き生き酪農 目指せ!国際化農業人…… 4
- ヨーロッパの畜産視察報告 (I) …… 5
- 畜産試験場における平成5年度の試験研究計画…… 6
- 抗生物質の話…… 7
- 随想…… 7
- 人の動き…… 8

平成5年度当初予算の概要

宮城県畜産課

平成5年度の当初予算は、平成5年3月4日に招集された定例県議会に提案され、3月23日の本会議で可決されました。

平成5年度は、2月に知事選挙があったため、骨格予算による編成となり、政策的な事業は補正予算での対応となります。

畜産課予算につきましては、牛肉の輸入自由化後の影響等に留意しながら、引き続き輸入自由化関連対策を展開するなど、地域に根ざした魅力ある畜産を推進するための予算を計上しております。

科	目	予算額(千円)
1	畜産総務費	604,453
2	畜産振興費	1,978,840
	1. 家畜改良増殖費	128,623
	2. 家畜改良対策事業費	4,902
	3. 家畜導入事業費	48,382
	4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	23,283
	5. 肉用牛振興対策事業費	1,738
	6. 畜産流通対策事業費	16,819
	7. 地域畜産振興事業費	74,766
	8. 畜産経営環境整備事業費	352,023
	9. 環境保全型畜産確立指導事業費	112,873
	10. 畜産団体等育成強化事業費	57,875
	11. 公共育成牧場対策費	100,049
	12. 草地開発事業費	884,771
	13. 自給飼料生産対策事業費	5,374
	14. 流通飼料対策事業費	1,977
	15. 学校給食用牛乳供給事業費	136,390
	16. 生乳流通改善対策事業費	5,940
	17. 酪農経営体質強化対策事業費	1,000
	18. 畜産活性化総合対策推進事業費	8,903
	19. 伊達な和牛の郷づくり推進事業費	13,152
3	家畜保健衛生費	184,559
	1. 家畜伝染病予防事業	60,094
	2. 家畜保健衛生対策事業費	19,349
	3. 家畜衛生技術指導事業費	27,326
	4. 自衛防疫推進事業費	77,790
	合 計	2,767,852

以下、平成5年度の新規事業など特色のある事業を紹介いたします。

1. 伊達な和牛の郷づくり推進事業

牛肉の輸入自由化の実施など国際化の進展に対応した肉用牛のグレードアップの必要性、消費者ニーズの多様化への対応、住民の価値観の変化に対応した地域文化の創造など、畜産を取り巻く情勢の変化に迅速に対応し、地域の特性を生かした調和のとれた産地づくりを進めるものです。

- (1) 事業主体 県, 市町村和牛の郷づくり推進協議会
- (2) 事業年度 平成4～8年度
- (3) 5年度予算 7,300千円
- (4) 事業内容

各市町村の肉用牛振興の課題を整理し、「人づくり」、「里づくり」、「牛づくり」の3つの視点から地域が必要とする振興策を、年次計画に基づいて総合的に展開するものです。

ア. 国際化に対応し得る「人づくり」の推進

企業者マインドをもった担い手の育成を図る事業
牛飼いプロの育成：牛飼いプロ育成事業, カウ・レディ育成事業
夢と生きがい対策：体験スクール事業, シルバー・グレートピア事業, 牛飼いヘルパー事業

イ. 文化の香り高い「里づくり」の推進

ゆとり、ふれあい、活力のある地域文化の創造を図る事業

都市と農村の絆づくり：農村文化交流事業, 里の風推進事業, 牛飼いロマンの里づくり事業

農村アメニティ対策：畜産アメニティ対策事業, 畜産ゾーン整備事業

ウ. 商品性の高い「牛づくり」の推進

輸入自由化、産地間競争に打ち勝つ高品質牛の生

ビフィズス菌は

ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス®
フレーション

ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社

名取市飯野坂五丁目1番3号
☎ (022) 384-5181



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレンクス

日本全薬工業株式会社

産を図る事業

地域ぐるみの品質向上対策：肉質向上キャンペーン事業、繁殖牛グレードアップ事業、ET技術普及事業
 低コスト生産推進活動：一貫生産促進事業、規模拡大推進事業

2. 仙台牛銘柄確立推進対策事業

激化する産地間競争に勝ち残り、高級牛肉としてのブランドを確立するため、地元及び首都圏を中心に広報宣伝活動、イベント開催、贈答品販売ルート開拓などを展開するとともに、「仙台牛」の消費拡大を図ります。

- (1) 事業主体 仙台牛銘柄確立推進協議会
- (2) 事業年度 昭和53年度～
- (3) 5年度予算 8,500千円
- (4) 事業内容

ア. 仙台牛広報宣伝対策

テレビや新聞等を使った一般広報活動、宣伝用ビデオの作成

イ. 県内消費拡大対策

農業祭、仙台青葉まつり等への参加

ウ. 仙台牛指定店、提供店の拡充強化

指定店(食肉小売部門)や提供店(レストラン等)の新規指定、新聞等への広告掲載

エ. 仙台牛キャンペーンの開催

ポスター、チラシの作成、景品等の配布

オ. 観光地等での販売促進活動

野立て看板等の設置

カ. 仙台牛のつどいの開催

仙台牛生産農家、流通・小売業者、学識経験者等のパネルディスカッション

キ. アンテナショップ活動

東京都内でフェア開催、ポスター等の作成

ク. 仙台牛贈答品等消費拡大対策

高級デパート贈答品パンフレット掲載、生産者を中心に生産地での消費拡大

3. 公社営畜産基地建設事業

今後とも畜産主産地として安定的な発展が見込まれる地域において、飼料基盤及び農業用施設等の整備を行うことにより、中核的な畜産農家を育成し、もって新たな畜産主産地を形成する事業です。

平成5年度は4地区で実施しますが、このうち蔵王山麓地区が新規地区として加わることになりました。

- (1) 事業主体 社団法人 宮城県農業公社
- (2) 事業年度 昭和63～平成9年度
- (3) 5年度予算 837,007千円
- (4) 事業内容及び補助率

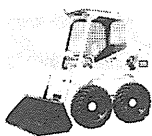
- ア. 基本施設整備(国1/2以内、県20%以内)
草地等造成整備改良、道路整備改良、施設用地造成、用排水整備
- イ. 農業用施設整備(国1/2以内、県15%以内)
隔障物整備、畜舎等整備、看視舎整備、飼料調整貯蔵施設整備、農具庫整備、家畜排せつ物処理施設整備、電気導入
- ウ. 農機具等導入(国1/2以内、県10%以内)

(5) 実施地区及び事業費

(単位：千円)

地区	実施町村	事業実施期間	総事業費	うち5年度事業費
栗原	築館町 栗駒町 一迫町	63～5	1,958,100	123,768
	金成町 鶯沢町 花山村			
登米	一迫町 登米町 中田町	元～6	1,931,000	371,112
	米山町 東和町 豊里町			
大崎	古川市 中新田町	2～6	2,595,000	403,711
	北部 岩出山町 鳴子町			
蔵王山麓	白石市 蔵王町	5～9	2,112,000	241,420
	七ヶ宿町 川崎町			
合計	2市 19町 1村		8,596,100	1,140,011

TCM東洋運搬機



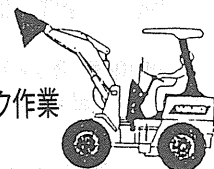
糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
 東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
 電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
 飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
 電話(022)(237)7441番代

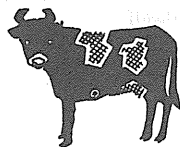
4. 環境保全型畜産確立指導事業のうち

堆きゅう肥総合利用対策事業

環境への負荷の少ない環境保全型農業の推進を図る観点から、耕種農家との連携を強化し、堆きゅう肥の有効利用を促進するための処理施設等を総合的に整備するものです。

- (1) 事業主体 北上町
- (2) 事業年度 平成5年度
- (3) 5年度事業費 168,360千円
- (4) 補助率 国：1/2以内
県：施設13.5%，機械9%以内
- (5) 事業内容

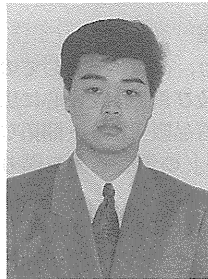
受 益		事 業 内 容		事業量
戸数	地目別面積 頭羽数	工種・施設 区 分 等	構造・ 規格・ 能力等	
戸 44 酪農	乳牛	強制発酵処理施設	1,232㎡	1棟
		尿処理施設	7 t 処理	1基
31 肉用牛	725頭 肉牛	機械格納庫	51.8㎡	1棟
		製品保管庫	105.3㎡	1棟
12 養豚	426頭 豚	敷地整備	6,000㎡	1式
		ホイルローダー	37PS	1台
1	664頭 肥育豚換算 6,419頭	パキュームカー	4t	1台
		アニアスブレッダ	1.5t	1台
		袋詰め機		1台



農業実践大学校畜産学部OBの紹介

牛も人も生き生き酪農
目指せ！国際化農業人

佐々木尚晃 (20歳) 平成5年3月卒業



私は、この春実践大学校を卒業したばかりの酪農1年生です。我が家は、志津川町戸倉地区にあり、成牛20頭の草地型の酪農専業経営です。

私は、小さい頃から牛が好きで、牛舎に入って牛にさわったり手伝いしながら我が家の経営にふれ、自然な形で就農したと思います。就農してからまだ数

えるほどしか日数が経っていないので、あらためて両親と牛から教えられることの多さに驚いています。

両親ともまだ若く、自分達の経営改善に真剣になって取り組んでいる時期ですが、私の労力が増えたことで、今、両親と将来の経営について話を重ねています。

現在の規模を維持し、少ない頭数で効率良く飼養管理するか、牛にとっても人にとってもいかに健康な酪農経営ができるか。そんな話し合いを重ねるうちに、自分なりの新しい部門として、経営の中に繁殖和牛を取り入れ、受精卵移植技術を利用した和牛子牛生産部門などを加えていこうと思っています。

将来は私と両親の2世代で交代制のヘルパー制度をつくり、2,000万円の所得目標で、旅行やレジャーを本気で楽しめるような畜産経営を目指しています。

農業は今、各方面からさまざまな標的にされ、いろいろな課題を残されています。けれども日本の農業は絶対に残っていくと思うし、私はまわりのそんな事柄は気にしていません。それでも今後の農業経営者は国際的な視野を持ち、長期的な計画を立てて経営していかなければならないと思っています。そのため、海外の先進技術を習得し、酪農の現況や将来の方向を自分の肌で感じるために、平成5年6月から2年間米国で農業研修をする予定です。帰国後は、自分で確かめた先進技術や、知識、情報をもとに、我が家と地域の農業経営を考えていきたいと思っています。

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL 石巻 0225 (22) 6111
FAX 石巻 0225 (22) 6116

動物用 (牛専用)
医薬品

トルラミックス

特殊酵母十必須ビタミン十ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

ヨーロッパの畜産視察報告 (I)

平成4年9月(なぜか世界中で飛行機の墜落事故が頻発した無気味な時期でしたが)にヨーロッパの4ヶ国(イギリス・ドイツ・フランス・デンマーク)の畜産指導機関における情報処理と経営指導というやっかない(?)テーマを中心に視察する機会に恵まれたので、その概要を報告します。

〔イギリス〕食肉家畜委員会(MLC):1967年設立、全国の肉畜全体を指導対象としており、肉畜の改良、生産者に対する技術・経営指導、枝肉の格付けのほか食肉の生産・流通・加工に関する調査・研究、市場調査、消費拡大のための活動を行う民間機関である。1991年の予算は4,700万ポンドであり、収入のほとんどを各種指導料・手数料が占めている。イギリスでは、食肉に関する公務員の普及員が居ないため、MLCが普及のための業務も担っている。

枝肉の格付けのため500人の職員を擁し、全国の肉の95%、牛肉・羊肉の50%をチェックしており、これらの生産農家毎の成績や全国の生畜・枝肉市場の成績等の情報を収集分析し、農家や関連業界に情報を有償で提供している。

イギリス国内でも食肉の消費動向は健康食・低脂肪へと変わってきているが、肉のやわらかさ、食味(肉汁が多いもの)、肉色をそろえることなど品質の向上が求められてきており、そのための調査研究もしている。このほか、畜産農家の経営コンサルタント(もちろん有償で)やBLUP法による育種価の評価、さらに他の研究機関と共同で食肉処理の際の自動解体システムの開発、肉畜の改良、人工授精・受精卵移植に関する研究・開発も行っている。

〔ドイツ〕農業会議所(ニーザーザクセン州ベッサエムス地区):1900年設立、社団法人組織の農業指導機関で、年間予算1億マルク、うち60%が農家からの会費・手数料収入であり、900人の職員を擁している。

一般的な農業経営指導を行うとともに、研究機関も有し農家指導に成果をフィードバックするための機関である。この地域は、ドイツの北西部に位置しオランダと接しており、トウモロコシ作付けの北限である。100万haの農地があり、農業収入の92%を畜産が占めている。

この会議所では、畜産の経営・技術指導、振興、家畜衛生の課題のほか、職業教育、市場調査、土地開発、造園、森林保護、農業にたずさわる女性の問題についても取り組んでおり、中でもマイスター養成に関することは本会議所の重要な業務である。また、付属の組織として家畜の健康管理(動物保健局)、乳製品の開発、土壌・肥料・飼料の検査のための研究機関を有している。

この地域の家畜衛生状況は、Q熱の発生があるほか、子牛のサルモネラ症による被害も甚大である。オーエスキー病については、豚の90%が抗体陽性であり、牛での発症例もあったという。オーエスキー病に対してはワクチネーションで対応しており、少なくとも5年後にはこの地域では(発症が?)撲滅されるだろうとのことであった。牛白血病は過去4年間発症例はない。現在ブラセラ症の発生はないが、EC統合により隣接するオランダ、ベルギーからの侵入が懸念されている。

宮城県畜産課 石川勇志



来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8

022 (225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1

0220 (22) 2278

< 畜試便り >

畜産試験場における平成5年度の試験研究計画

畜産をとりまく情勢は、畜産物価格の低迷や担い手の高齢化、牛肉輸入自由化等、厳しい現況にあり、今後とも、本県農業の基幹作物として、展開を図っていくためには、生産性の高い高品質畜産物の生産、畜産経営体質の強化をはかり、十分自立できるような体制を早急に確立することが緊要である。

このためらには、新技術の開発や、より能力の高い家畜への改良をはじめ低コスト資料資源の確保が必要である。

特に、育種改良におけるバイオテクノロジーの応用技術、生産コストの低減技術、高品質畜産物を生産する技術等の開発が急務である。

また、最近環境問題が重視されており、畜産分野においても、環境保全型技術開発に取り組む必要がある。

このことから、受精卵関連等新技術の開発と利用により家畜の能力向上や生産性の向上に関する試験研究を推進する。一方、農業情報システムの整備による迅速な情報の提供を行い、技術や普及の効率化を推進する。

ア 酪農肉牛

乳牛については、生乳生産のコスト低減を図るため地域飼料資源の活用を図りつつ高品質生乳の生産技術並びに高能力牛の哺育、育成技術について試験研究を実施する。

肉牛については、低コスト肥育素牛生産をねらいとした交雑種による双子生産技術を検討すると共に、肥育実態を解明するための産肉情報の分析と、高品質牛肉生産の最適な肥育管理条件の試験並びに、県内で利用されている種雄牛の遺伝的産肉能力の検定を実施する。

受精卵関係については、正常受精卵の安定生産技術と、凍結保存技術の検討、双子の成立要因解明による子牛生産効率の向上についての試験並びに、体外受精による未利用卵子の活用技術から、クローン牛生産に

至る基礎技術の試験研究を実施する。

イ 種豚家きん

系統豚“ミヤギノ”の普及促進を重点に原原種の維持とその効率的飼養法の究明、系統豚の有効利用を図るため交雑方式と高品質豚肉生産技術の検討、バイオテクノロジー等新技術を活用した豚受精卵移植技術、豚精液の凍結保存技術など系統豚の能力を十分に発揮させるために必要な試験研究を実施する。


ウ 草地飼料

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図る転換畑飼料作物を含めた優良品種の選定、栽培調製技術の確立、飼料作物の生産特性と気象との関連解明等についての試験研究を実施する。

環境資源関係については、全天候型良質飼料調製技術の開発、飼料資源の開発活用を図るため、低未利用素材を用いた低コスト飼料並びに混合飼料の調製貯蔵システム化と流通技術の開発、また、推肥肥連用圃場での、ミネラルバランスの改善技術の解明等についての試験研究も実施する。

平成5年度重点課題

- 1 高品質生乳生産の飼養管理技術の確立
- 2 放牧による肥育素牛の低コスト育成技術の開発
- 3 効率的な高品質牛肉生産のための飼料給与方式の確立
- 4 牛体外受精に関する研究
- 5 ミヤギノを利用した系統間交雑豚の高品質豚肉生産に関する試験
- 6 ランドレース系統維持群の飼養方法に関する試験
- 7 豚の受精卵移植技術に関する研究
- 8 輪作体系安定化のための飼料作物栽培調製法及び復元田における水稻栽培法の確立
- 9 飼料作物・牧草適応品種の選定
- 10 オールインサイレンジの省力調製貯蔵システム及び流通化技術の開発

<p style="text-align: center;">くみあい哺乳期育成用飼料体系</p> <h2 style="text-align: center;">ウルトラミルクシリーズ</h2> <h3 style="text-align: center;">3つの効果</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1. 離乳がスムーズ簡単! 2. 赤肉(リーンミート)の蓄積を高める! 3. 肥育期の発育を早める! <p style="text-align: center;">JAグループ 農協 全農 経済連</p>	<h2 style="font-size: 1.2em;">正統の育ちと味</h2>  <h3 style="font-size: 1.2em;">仙台牛銘柄推進協議会</h3> <p style="font-size: 0.8em;">仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449~50</p>
---	---

衛生便り

抗生物質の話

1928年イギリスの医学者フレミングが青カビからペニシリン、1944年アメリカの土壤微生物学者ワックスマンが放線菌からストレプトマイシンを発見してから半世紀以上を経た現在、世界各国で実に多くの抗生物質が発見され医学、獣医学をはじめ農業や食品保存の分野で実用化に至っています。

抗生物質がどんなからくりで細菌に対して有効に働くのかをまとめると次のように分類されます。

- a. 細菌の増殖過程での細菌構造（細胞壁や細胞膜）の造成を阻害する（ペニシリン系やコリスチンなど）
- b. 増殖や代謝に必要なタンパク質の合成を阻害する（ストレプトマイシン、カナマイシンなど）、c. 遺伝子である核酸の合成を阻害する（ニューキノロン製剤）。

畜産分野では、a. ～b. の薬剤が主流でしたが今後はc. 核酸合成阻害作用を持つ抗生物質の役割が重要になってくるでしょう。

抗生物質の一般的な知識としては、1) 排泄臓器である腎臓、肝臓に高濃度で分布します。2) ペニシリンショックのようなアレルギー症状や、副作用がみられたりします。3) 抗生物質の併用は、抗菌作用範囲の拡大などの協力作用がみられますが、抗生物質の組み合わせによっては、効果が減少する作用（拮抗作用）がみられます。4) 細菌の感受性の違いなどで、それまであった細菌が別の細菌と入れ替わる菌交代現象がみられ、これによって菌交代症が発生する可能性があります。5) 薬剤耐性菌の出現が治療や予防効果を著しく低減させます。細菌の薬剤耐性化は、遺伝子の変化、異常によるものや他の細菌から接触により伝達されて獲得するものなどがあることが明らかとなりました。

これらのことを念頭に置いて、獣医師の正しい指導のもと抗生物質の正しい使用を心がけて下さい。

病性鑑定課 技師 大場 実

随想

畜産、酪農政策価格要請運動に臨んで

今年の畜産物価格運動も波乱のうちに終わった。米価要求運動とならび、恒例となった、畜産農民の春闘が、3月12日の県代表者大会を皮切りに、最大の山場となった、3月26日まで、連日波状活動が精力的に展開された、中でも畜産県と自認する九州各県、北海道等主要県は、生産者代表はもとより農業団体代表とともに県議、町議まどのバッチ組も参加しているのが印象的であった。

農畜産物価格の先発は毎年乳価が先登に始まります。考え方によっては、乳価をはじめとする畜産物価格の決り方によって、その年の農畜産物価格の動向を占うことが出来ると言われている。

今年の要請運動は、輸入自由化の影響で牛肉の急増による食肉価格の低迷、子牛価格の連続的な補給金支払、生乳の大巾な需給緩和、さらには、卵価の長期低落などで、全畜種の生産が危機的状況となっている中での展開となった。

農畜産物自由化の波を最初にかぶったのは畜産であった。国内対策も不十分のまま、米国の圧力に属して牛肉の自由化が行われ、その輸入量は前年を大きく上廻るものとなり、国内市場を圧迫、価格の低落が著しく、生産農家の経営に大きく影響をおよぼし、小規模経営農家の離脱は深刻な事態に追い込まれている。

今回の畜産運動は、生産者とJAなど農業団体が、やむにやまれず決起したのは、少なくとも現状相当のつましい要求であるとともに、政府が生産者の立場を無視しているとは思われないが、近年の国策の中で農業の位置づけが、きわめてあいまいである。こうした底流に対する抗議を含め、運動はかつてない激しさで結果として、政府案を実質的に是正させた。がしかし、喜んでばかりいられない、自由化3年目、4月から牛肉の関税が更に50%引き下げの実施、為替も円高進行で輸入環境条件が緩和され、増々拡大されることは必至である。

このような状況下にあっても、畜産、酪農が希望を持って助ける状態をつくりだすには、生産者の自助努力はもとよりですが、県、地域行政、農業関係団体が引き続き、総力を結集し、今回に増して激しい要求運動を中央に向け、精力的かつ積極的に展開する必要がある、これは、我々の最低限の義務であり、また、農業安定の道である。

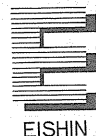
JA宮城経済連畜産部長 小平 成由

WORLD カボク サンシャイン



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区鉦町5丁目1番地4
電話 (022) 236-2525 (代表)



クスリの総合卸

株式会社 エーシン

EISHIN

取締役社長 山田 修造

本社 (畜産課) 仙台市若林区鉦町2丁目10-3

☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

人の動き

宮城県 退職 (3月31日付) 畜産試験場次長
" (") 畜産試験場
" (") 畜産試験場

佐藤 昌義
池田三千男
氏家 政敏

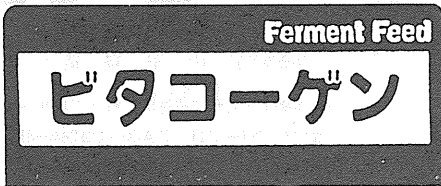
4月1日付け

新	旧	氏名
農政部長	企業局長	西城 光政
農政部次長 (技術担当)	農業センター所長	菅原 浩治
畜産課長	仙台家畜保健衛生所所長	佐藤 裕一
畜産課技術副参事 (家畜改良・衛生担当) 兼技術補佐	大河原家畜保健衛生所次長	佐藤 新六
畜産課主幹兼畜政係長	土地対策課主任主査	本宮 哲郎
肥飼料検査所兼畜産課技師	農業センター	鎌田 賢治
畜産課主査	気仙沼土木事務所行政課行政係長	中川 昭三
" 技師	迫土地改良事務所技師	小川 勤
" "	大河原家畜保健衛生所技師	西川 彰子
" "	仙台 "	伊藤 敦実
" "	" "	大場 武夫
大河原家畜保健衛生所所長	古川 "	菊地 孝夫
" 次長	石巻 "	加茂 義信
" 主査	迫 "	大橋 亮一
" 技師	畜産課技術主査	横山 大まき
仙台 "	新採用	田中 洋嗣
" 所長	大河原家畜保健衛生所所長	早坂 敏夫
兼指導課長	古川 "	黒須 瑞穂
" 技師	追 "	小野寺 伸和
" 技術主幹	石巻 "	高橋 伸和
古川 "	築館 "	佐々木 和夫
兼防疫課長	畜産課技術主査	高橋 健
" 技師	新採用	鈴木 徳彦
築館 "	畜産試験場酪農肉牛部受精卵研究科長兼農業実践	小野寺 千一
追 "	大学校	
" 次長	農業経済課技術主幹兼共済係長	秀島 理明
" 技師	畜産試験場技師	福田 智子
" "	新採用	國井 洋
石巻 "	畜産課技術補佐 (家畜改良・衛生担当)	大村 信
" 所長	仙北食肉衛生検査所技師	後藤 讓
" 技師	気仙沼地方農事務所調整振興部総務室長	桜井 久夫
畜産試験場次長兼総務課長	大河原家畜保健衛生所技術主査	木船 厚恭
" 酪農肉牛部受精卵研究科長		
兼農業実践大学校	仙塩流域下水道事務所主事	五十嵐 孝夫
畜産試験場主事	古川家畜保健衛生所技師	小川 ゆう子
" 技師	畜産課長	佐々木 敬功
農業実践大学校長	畜産課畜政係長	志賀 敬博
文化振興課主幹	肥飼料検査所技術主幹兼畜産課	千葉 準三
農業センター宮農機械部主任研究員	畜産課主査	畑 正芳
東京事務所総務課長補佐兼総務係長	" 技師	高橋 勝美
築館農林事務所農地課建設係長	" "	半沢 康弘
小牛田農業改良普及所技師	" "	村田 和浩
追 "	仙台家畜保健衛生所主幹兼指導課長	斉藤 喜平
中新田 "	迫家畜保健衛生所技師	早坂 駿哉
担当) 兼技術普及課長	畜産試験場総務課総務係長	高橋 啓
仙北食肉衛生検査所技師		
多賀城高校総務係長		
宮城県畜産農業協同組合連合会		
退職	小野寺 武 (3月31日付け)	4月1日付け

新	旧	氏名
業務課長兼務を解く	事業部長兼業務課長	小室 盛昭
業務課長	仙台支所兼亘理出張所所長	堀内 政一郎
仙南支所所長	柴田支所長	小笠原 一護
遠田支所次長 (支所長待遇)	課長待遇事業部付	橋本 護
仙南支所次長兼酪農専従	指導課長補佐	那須 正児
仙南支所	柴田支所	鈴木 靖子
指導課	"	太宰 仁
仙南支所	仙台支所	太田 正利
"	遠田支所	横江 進
指導課	仙台支所	砂金 ひろ子
仙南支所	業務課	千葉 茂

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



ご用命は
酪農組合、農業協同組合
又は畜連支所まで

清和酵源株式会社

[本社：三重県鈴鹿市]

新		旧	氏名
業務課 石巻支所 仙南支所	石巻支所 指導課 仙台支所		千葉 勝彦 桜井 弘幸 佐々木 典子
宮城県経済農業協同組合連合会			4月1日付け
新		旧	氏名
企画管理室付組織整備対策担当 仙台支所 佐沼支所佐沼地区担当次長 畜産総合推進課 酪農畜産課 食肉販売課 〃 〃 仙北食肉販売所 飼料課 〃 人事課 経理課 電算運用課 大河原支所 古川支所 築館支所 東京事務所 ミヤギノGGPセンター(試用職員)	畜産部次長 古川支所 仙台支所 ミヤギノGGPセンター 電算運用課 仙北食肉販売所 東京事務所 企画開発課 食肉販売課 農業機械課 総務課 飼料課 酪農畜産課 食肉販売課 飼料課 築館支所 佐沼支所 食肉販売課		佐藤 善英 本郷 彬彦 沢田 勝彦 後藤 嘉信 佐々木 宏子 佐々木 和明 森 正義 佐藤 範子 木村 伸子 屋代 安子 藤代 恵子 伏見 恵子 横田 節子 阿部 保弘 高橋 好博 熱海 伸浩 渡部 良一 佐藤 潤
宮城県農業公社			4月1日付け
新		旧	氏名
畜産部次長 畜産部調査役(次長待遇)兼基地建設課長 農地管理部管理課長 事業部事業課長 白石牧場調査役(課長待遇)兼次長 岩出山牧場次長 畜産部基地建設課課長補佐 白石牧場主任主査 岩出山牧場主任主査 総務部経理課主査兼牧場管理室主査 畜産部畜産振興課技術主査 畜産部基地建設課技術主査 仙北事業所工事課技術主査 大郷牧場技術主査 総務部総務課技師(仙台土地改良事務所出向) 総務部総務課技師(古川土地改良事務所) 畜産部畜産振興課技師(丸森・角田地区担当)兼事業部技術管理課技師 仙南事業所工事課技師 白石牧場技師	畜産部調査役 畜産部基地建設課長 総務部経理課課長補佐兼牧場管理室長補佐 畜産部基地建設課調査役(課長待遇) 白石牧場次長 仙南事業所機械課長 仙北事業所工事課技術主査 岩出山牧場主任主査 大郷牧場技術主査 総務部経理課主査兼総務課主事 仙南事業所工事課技術主査 仙南事業所工事課技術主査 畜産部畜産振興技術主査 白石牧場技術主査 畜産部基地建設課技師 畜産部畜産振興課技師 事業部技術管理課技師 白石牧場技師 岩出山牧場技師		鹿野 功一 内海 信一 伊東 伸一 今野 正 平岡 勲 佐竹 進 阿部 覚 高橋 久男 武田 昭幸 庄子 幸弘 亀山 泰弘 利山 明彦 岡本 俊彦 小野 清治 佐々木 一真 高橋 淳 平田 利幸 平岡 利明 庄司 功
NOSA 宮城 退職 参事			千葉 治敏(平成4年12月31日付け)
新		旧	氏名
参事	総合対策部長		佐藤 清雄
			4月1日付け
新		旧	氏名
家畜部付(部長待遇)兼家畜診療研修所勤務 家畜部診療指導課長 〃 主幹 〃 〃 〃 家畜課補佐兼家畜部診療指導課長補佐 県南家畜診療センター所長兼庶務課長 中央 〃 〃 (部長待遇) 兼庶務課長 県北 〃 〃 兼庶務課長 家畜診療研修所次長(所長待遇)兼庶務課長 県南家畜診療センター次長兼診療課長 中央 〃 〃	名取家畜診療所長 家畜部診療課長 〃 主幹 〃 〃 〃 家畜課長補佐兼家畜部診療課長補佐 石巻家畜診療所長 古川 〃 築館 〃 白石 〃 角田 〃 迫 〃		小野 敏行 千葉 正寛 遊佐 公八 浅野 恵一 小岩 良一 氏家 賢一 菅原 通正 大場 英企 佐藤 繁 吉田 重夫 平岡 盛義

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 2264151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

STAR スター農業機械

マニュアルトラック

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクホイール)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

新		旧		氏名
県北家畜診療センター次長兼診療課長	大衛家畜診療所長	南館	君夫	君夫
家畜診療研修指導課長兼中央家畜診療センター	本吉	早坂	雅孝	雅孝
県南家畜診療センター損防課長兼診療課	家畜診療研修所次長	木村	有一	有一
中央	名取家畜診療所技術主査	渡辺	昭夫	昭夫
県北	古川	高橋	清治	清治
中央	追	沼津	敬	敬
診療課長補佐兼樹園防課	名取	伊藤	博	博
古川	次長	武蔵	昌文	昌文
石巻	古川	島山	秀明	秀明
古川	石巻	高橋	一郎	一郎
大衛	古川	水沼	敏男	敏男
追	追	菅野	芳男	芳男
築館	築館	熊谷	敏信	敏信
家畜診療研修指導課技術主査兼中央家畜診療センター	家畜診療研修所技術主査	鈴木	利行	利行
県南家畜診療センター損防課技術主査兼診療課	白石家畜診療所技術主査	吉目	木勝策	木勝策
県北	本吉	大石	武志	武志
兼診療課	角田	熊谷	克	克
県南	古川	小野	秀弥	秀弥
兼損防課	家畜診療研修所技師	今野	清勝	清勝
家畜診療研修指導課技師兼中央診療センター	名取家畜診療所技師	高橋	千賀	千賀
技師	白石	後藤	弥彦	弥彦
県南家畜診療センター損防課支師兼診療課	追	一條	浩幸	浩幸
診療課支師兼樹園防課	白石	高橋	孝幸	孝幸
追	角田	寺田	智司	智司
角田	名取	早坂	則彦	則彦
白石	白石	早坂	久範	久範
角田	角田	鈴木	龍一	龍一
石巻	石巻	堀	仁美	仁美
古川	古川	佐々木	志磨	志磨
石巻	石巻	藤村	善正	善正
古川	古川	木村	正光	正光
兼家畜診療	石巻	蓬田	正信	正信
兼樹園防課	築館	勝又	秀悦	秀悦
県北	大衛	小島	佳岳	佳岳
兼診療課	古川	高橋	史昭	史昭
診療課支師兼樹園防課	築館	横尾	圭一	圭一
診療課支師兼樹園防課	築館	西條	慎太郎	慎太郎
追	追	我妻	洋太郎	洋太郎
古川	古川	佐竹	寿弘	寿弘
築館	築館	八島	正彦	正彦
大衛	大衛	河野	充彦	充彦
副主幹	副主幹	村山	勇雄	勇雄
園芸任意部任意課建物共済係長	園芸任意部任意課建物共済係長	佐々木	康子	康子
古川家畜診療所主事	古川家畜診療所主事	齋藤	節子	節子
副主幹	副主幹	佐々木	倫子	倫子
主事	主事	鈴木	徳子	徳子
主事	主事	佐藤	照代	照代
古川	古川	下	祐子	祐子
石巻	石巻	日	悦子	悦子
新採用	新採用	鈴木	木浦	了子
林	林	黒田	名隆	名隆
山田	山田	川名	晶子	晶子
山田	山田	川名	雅俊	雅俊
山田	山田	林	世子	世子
山田	山田	山田	英雄	英雄


宮城県家畜商協同組合
退職(3月31日付け)

参事

赤井澤 義一

4月1日付け

新	旧	氏名
参事		廣瀬 康夫



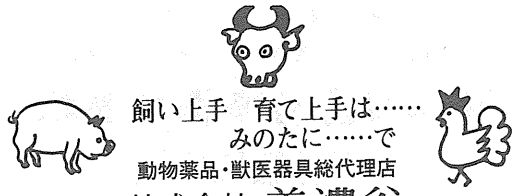
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
 宮城営業所 古川市新田字泉屋敷59-4 ☎989-61 TEL(0229)26-4330



飼い上手 育て上手は……
 みのたに……で
 動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL(83)3121
 仙台店 仙台市太白区山田字羽黒堂5番216 TEL(24)4306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL(24)0963